Rohwer Federated Christian Church
WEEKLY BULLETIN No. 114
Jan. 18th 1945　McGehee, Ark.


# 朗和基督教會週報


第百十四號　一月十八日
發行主任　白石清
毎週木曜日發行


◇今週の標語

「人の子の来れるも事へらるゝ為にあらず…おほくの人の贖償として、己が生命を與へん為なり。」(マタイ、廿ノ廿八)

◯「キング オブ キングス」

来る廿、廿一日両夜公會堂に於てC.A.主催の下に聖劇「諸王の王」が上映せられます。教会は廿一日夜の例会を中止して之に参加することに致しましたから、其の方へお出でを願ひます。

◯聖書研究会新年親睦會

廿三日(火)午後七時半　秦牧師宅にて、聖書研究志望者歓迎

◯婦人會の諸集會御案内

○お仕事會
廿日(土)午後二時　教会事務所

○霊交會
廿三日(火)午後二時半　土肥姉宅にて(十二ノ十C)

○婦人會総會
廿六日(金)午後七時半　教会堂

◯祈禱會ー廿四日夜七時半　教会
指導奨励　柿原牧師

◇聖日禮拝順序

一月廿一日、午後二時、教會堂、
司会　秦牧師

奏楽
頌栄(五百六)
招拝及主禱
讃美歌(五四)
聖書拝讀(マタイ廿ノ廿ー廿八)
祈禱
讃美歌(一二九)
説教　手原中枝
「己が生命を與へ給へり。」
祈禱
讃美歌(一二七)
献金(S.S.教材費のため)
報告
頌栄(五百八)
祝禱

◯英語部諸集會

○禮拝ー廿一日、午前十時半、教会
司会　坂上牧師
説教　クリスワード博士
「聖餐の瞑想」

○聖餐式　司式　ギャロウド博士

○青年部役員會
廿二日(月)午後七時、事務所にて

○青年祈禱會ー廿四日夜七時
・少年部(東会議)坂上牧師
・青年部(事務所)ギャロウド師

○青年部総會
二十六日(金)午後七時、教会堂
新役員選挙

◇悪より救ひ出し給へ　秦庄吉

今日は孰れの社会に於ても最も憂ふべきことは罪悪に対する観念が鈍くなつたと云ふのである。嘗て天然痘が流行した時、世人は非常なる恐怖を感じたのであつた。一人の患者が起ると、一都会又その町村は大なる警戒をなしたものである。然るに種痘といふ豫防法が発見せられた為に今日では餘り多く恐怖を感じなくなつた。夫は醫術の進歩發達のため此の病が征服せられた為である。今日世人が昔ほど罪悪に対して恐怖を感じなくなつた。然し夫は罪悪が征服せられた為ではなく人々の罪に対する道徳的感覚が鈍くなつた為であつて甚だ憂ふべき現象である。之は決して罪悪を征服する技術が發明せられたる為ではなくて、罪悪に對して我儘勝手な解釈をなす人が出来た為である。罪悪の存在を認めざる心理學者や宗教が起り、又ハ知識の薄弱なる宗教家が長く民衆の指導を誤つて居たるが為である。基督者の中にも神は愛である、その独子を賜ふほどに世の人を愛し給ふたのである。罪は既に神の愛の内に没し終りて、神には罪を罰する正義の念は無くなつたかの如く考ふる迷信家もある。然しながら聖書の罪悪観は斯く浅薄なるものではない。「我等の罪をも赦し給へ」と祈ると同時に「我等を試練に遇せず悪より救ひ出し給へ」と、日夜祈るべきことが教へてある。然れば我等は過去及び現在に犯したる罪を懺悔すると同時に、再び罪を犯すことなき様に過去を悔ひ自己反省をなし、戦々競々薄氷を踏むが如く罪より離れんと警戒しなければならぬ。然し単に警戒する許りでなく「祈れ」と教へてある。悪に打勝つ途は唯一つ祈あるのみである。戦争の為に人心は荒んで居る。第一世界戦後犯罪者は非常に増加した。大不景氣、大恐慌の襲ひ来りし際にも、監獄丈は超満員の大繁盛であつた。我等は今より霊的、道徳的、精神的大恐慌に對して準備しなければならぬ。此

かゝる為に武器は携りて、主よ我等に祈ることを教へ給へと乞ひ求めねばならぬ。謙遜なる祈は必ず應へらるるのである。

# 〇教會報〇

〇S.S.第五校聯合會—十一日午後七時半より齊藤兄姉の肝煎にて養老院の應接室にて催さる。東野兄の司会にて白石牧師の感想あり、質問應答懇談裡に茶菓の接待ありて十時半散会　十五名出席

〇S.S.教師會—十二日（金）夜七時中教会にて催され、秦総主事司会、通常事務会、ギャロット師の學課講解ありて終る。十九名出席

〇沖永君と佐藤嬢の結婚式—十一日午後教会にて秦牧師司式の下に擧行せらる。出席者廿二名。

〇日曜諸集會—十四日、

イ、日曜學校—出席生四百六十名。

ロ、青年禮拜—午前十時十五分より坂上牧師の司会にて営まる。此日ギャロット師は「イエス」と題して說教せらる。出席者一五三

八、一世禮拜—午後二時白石牧師司会の下に催され秦牧師「勇往邁進」と題して說教せらる。それより引つゞき、佐々木牧師司式の下に

二、聖餐式が営まれた。出席者一四一

・此夜は高校卒業說教式が公会堂にて擧行されるので二世者はその方へ参加し教会に於ける例会はなかつた。

〇牧師會—十五日（月）午前九時よりギャロット師方にて例会が催され例の如く諸報告がなされて後次の新年度の協議事項に入る。一、宗教家聯盟の午餐会の件　二、来る八月中頃坂上牧師南部バプテストの協議会に招聘せられ出張の由、承認。三、ギャロット師二月十一日より一週間アラバマ州へバプテストの要請にて出張の件承認。四、森兄へ教会より感謝状を贈ること。五、總會に提出事項、教会所有財産處分委員は新選財務委員がこれに當ることとし、その人員を平信徒側六名、牧師側三名を以て組織すること。六、日本捕虜軍人への贈物は研究の結果送料無料にて發送すると報告、以上茶菓のお接待に預り十時散会。

〇定期總會—十五日（月）午後七時半教会堂にて白石牧師議長の下に開会。多数会員の教会の重要な会議に参加せざるは不都合なりとの批難の声もあられど、先に前多数の意見にて総会成立、書記より前会の記録報告、及び各部々長報告—教育（秦）傳道（佐々木）青年（坂上）同会計（正田）文書（白石）奉仕（菅原）財務（秦）會計（三上）婦人会（菅原）財産管理（秦）音楽（ギャロット）庶務（白石）　夫れより協議に入り、一、財産處分委員は新選財務委員がこれに當ることとし、その人員を平信徒側六名牧師側三名とすること可決。二、西部沿岸地方を最近視察せられたる鵜浦牧師を招聘して実情を聴聞すること。經費の都合もあることと故、先づ研究の爲新事部に一任することに決定。

三、一、二世両部会計を合併する件（役員会案）森兄經過につき説明、三上兄答辯さる。賛成、坂上牧師に一任し一世側の意志を傳へ、実現に努むること。

四、日曜午後の礼拝を午前に變更する件（檜岐案）協議の結果、從前通りと決定

五、會計留任案（司兄）は役員改選の一案、

六、役員選擧—方法につき議場の意見にて銓衡委員会選出の廿名中十八名は当總会にて選び、二名は牧師会にて推薦すること。而して議場より任意の候補者を擧げ得ることと決し直ちに別して之をなす者なく投票に入る。一投票は豫め用紙に全候補者名を揭示せるものを以てす。以下当選者十八名。—得票数順にあらず、順序不同。

兒玉節二　森　諦
田川作太郎　（以上第一教区）
丁野德次　東野市之助
今元善一　井上半次
石丸正吉　尾形忠三郎
大秋市之助　（以上第二教区）
早坂亀三郎　根本昌治郎
玉島正榮　三上壽一
齋藤新次　木下武一
谷口顯定　大倉榮光
（第三教区）

次に議長、副議長及び書記の選擧に及び議長留任説ありたるや、異議無く容易に決せず、遂に以上の三役を來る牧師会の決定に委ねることに決定す。第一回役員会の日取は青年部の方の總会の都合ありて決定を見ず、来る日曜日までに決定發表せらるべし。以上閉会の動議あり、十時廿分秦牧師の祈禱を閉会、廿名。

〇婦人聖文会—十六日午後二時半東会館にて催され、兒玉夫人司会せらる。

〇聖書研究会—十六日夜七、三〇　秦牧師宅　十三名。

〇祈禱會—十七日（水）午後七時半教会にて指導奨励者平原中校。

感謝

其後教会各部へ御献金下されし諸兄姉に謹て御礼申上ます。十八日、会計係

中原つま子様（廿八包）感謝献金
沖永俊一郎様
同　フタ子様　特別寄附
知野ふみ子様　感謝献金
秋本（寛）様　感謝献金
土肥様（[illegible]）自由献金
・青年部へ
鈴川フレッド様（スチリング寄金）
神山フレッド様（レウヰス寄金）
・日曜學校へ
小川あい子様
・クリスマス献金
藤田ジョン様（カン女市）
大杉レーモンド様（ミシガン）

〇教會員名簿が漸ク出來マシタ。一家族二部宛差上マスカラ事務所ニテオ受取下サイ。又ハ日曜礼拝後会堂ニテオ受取下サイ。エキストラ ハ、マダ上ゲラレマセン。

・ハンター博士—先週来一寸御来訪御家族ニ皆様御健在ノ由。皆様ニヨロシクト。

・長谷兄—過日来宿病再發御静養所　回復ヲ祈ル。

・平原中校今回[illegible]傳國前線ニテ負傷セラレタルガ先日[illegible]ノ病院ニ御入院サレタ。